

セキスイ熱膨張耐火材 ファイブロック® 区画貫通用テープ

取扱説明書

貫通する防火区画

コンクリート壁・床
ALC壁・床

建築給水管用 エスロハイパーAW 呼び径100以下用

国土交通大臣認定品、(財)日本消防設備安全センター認定品

製品仕様

品名	品番	厚さ	幅	巻長さ
ファイブロック エスロハイパーAW 呼び径100以下用	FIBAW1H	6.09mm	110mm	0.42m



WEB申請はこちらから
<https://www.sekisui.co.jp/fp/>

認定シールおよび評価マークのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す「認定シール」をご用意しております。また、特定共同住宅等にご使用の場合、(一財)日本消防設備安全センター発行の「評価マーク」または「評価一括プレート」の貼付が必要です。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHP経由WEBでの申請、または別紙「認定シール・評価マーク請求書」によるFAX申請にてお願いいたします。申請内容を確認の上、ご請求枚数の「認定シール、評価マーク等」を送付させていただきます。

適用範囲

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

適用場所	貫通配管種	使用最大配管呼び径	ボイド径/開口寸法	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評価番号 [共住区画]
壁 床	給水管高密度ポリエチレン管(エスロハイパーAW)	100	175/φ182mm以下	PSO60WL-0476	KK 21-011号
				PSO60FL-0475	KK 21-010号

●詳しくは各認定書・評価書をご確認ください。

※令8区画には使用出来ません。

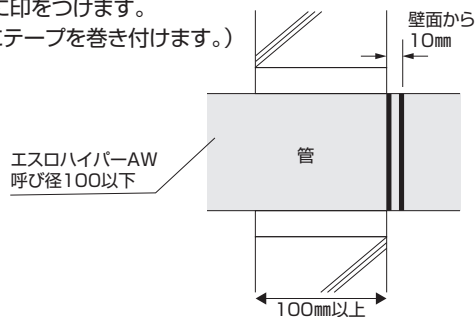
標準施工例 [ALC・コンクリート壁の場合]

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

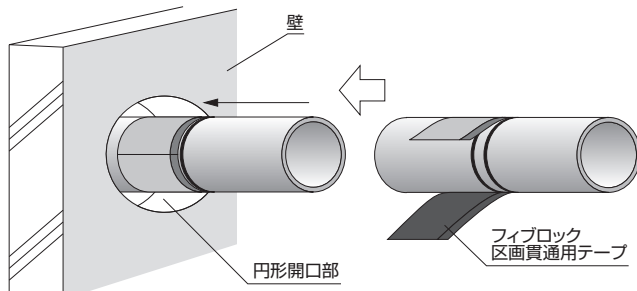
2. ファイブロック区画貫通用テープの位置決め

- 現場にて採寸し、配管後に管の壁面と壁面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



3. ファイブロック区画貫通用テープの巻き付け

- 管表面の埃・汚れを除去します。
 - 管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
 - 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。
- ※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。
※ファイブロック区画貫通用テープは壁のどちら側にもみだしてもかまいません。



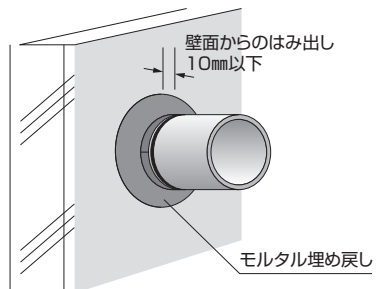
4. 配管

- 配管し、支持・固定します。

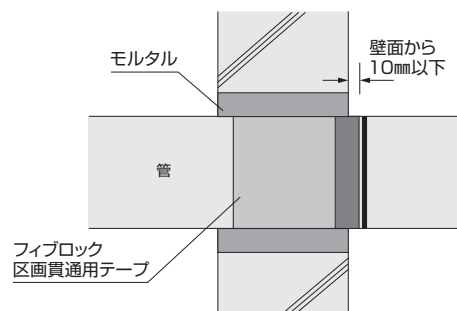
5. モルタルの埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。

※ファイブロック区画貫通用テープが壁面から数mm~10mm以下でていることを確認してください。



◎施工状態



標準施工例

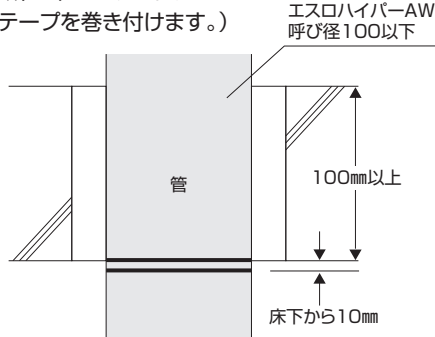
[ALC・コンクリート床／フィブロックが床下側にはみ出す場合]

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

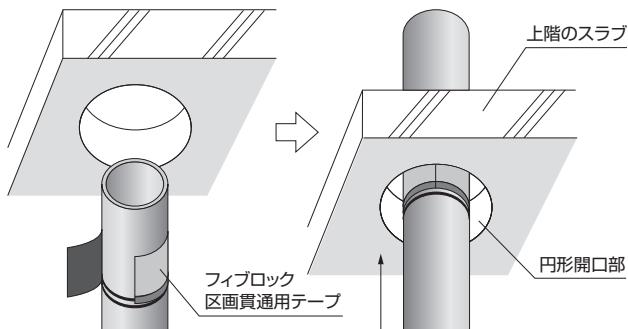
2. フィブロック区画貫通用テープの位置決め

- 現場にて採寸し、配管後に管の床下面と床下面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



3. フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

- 管表面の埃・汚れを除去します。
- 管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。
※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

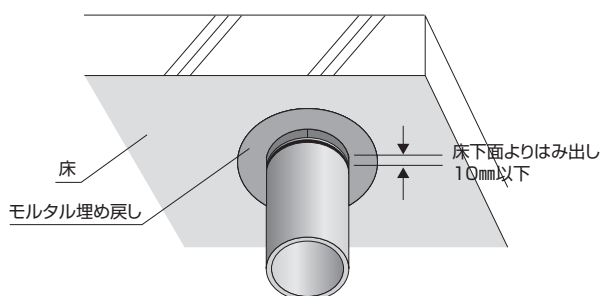


4. 配管

- 配管し、支持・固定します。

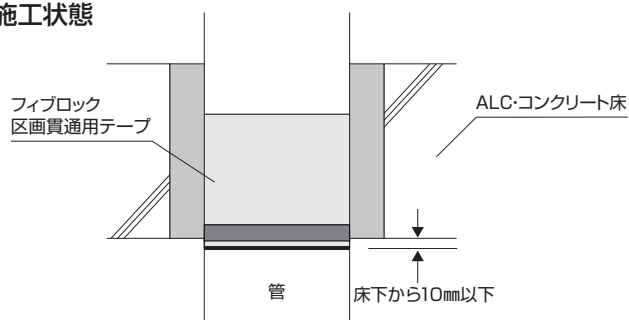
5. モルタルの埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



※フィブロック区画貫通用テープが床下面から数mm～10mm以下出ていることを確認してください。

◎施工状態



標準施工例

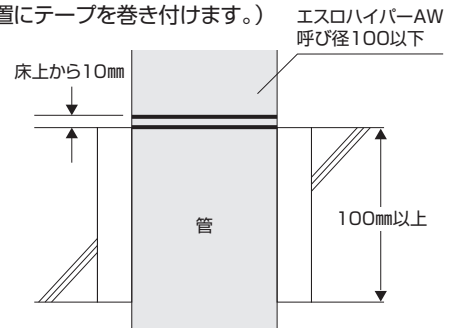
[ALC・コンクリート床／フィブロックが床上側にはみ出す場合]

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。

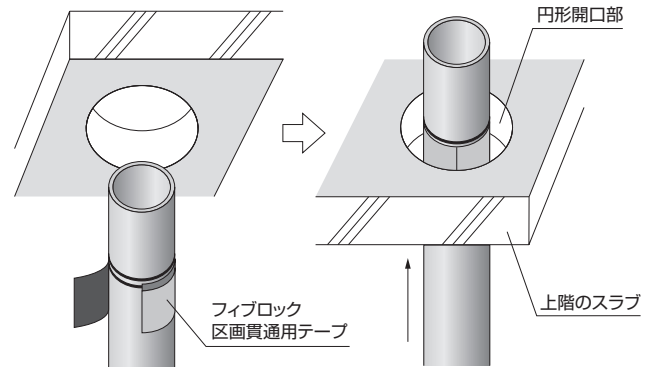
2. フィブロック区画貫通用テープの位置決め

- 現場にて採寸し、配管後に管の床上面と床上面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



3. フィブロック区画貫通用テープの巻き付け

- 管表面の埃・汚れを除去します。
- 管の上から1周巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。
※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

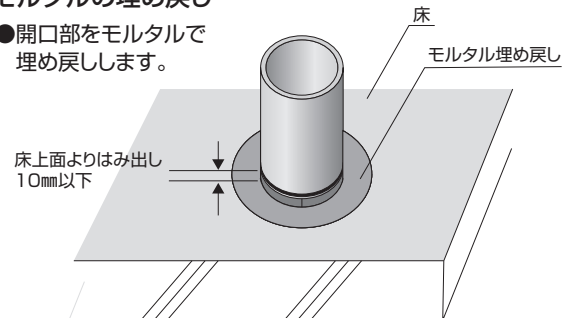


4. 配管

- 配管し、支持・固定します。

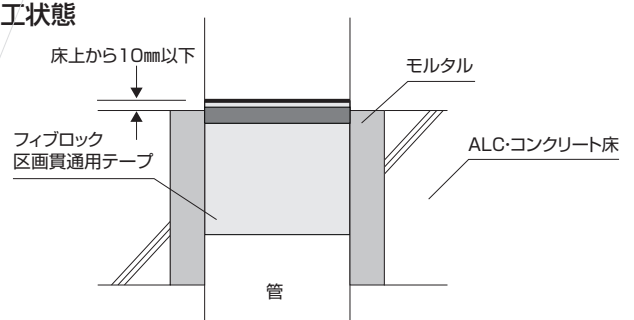
5. モルタルの埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



※フィブロック区画貫通用テープが床下面から数mm～10mm以下出ていることを確認してください。

◎施工状態



⚠ 注意事項

- ファイブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかる場所、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- ファイブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
- 帯の幅は10mmではないので、帯を全部出さないようにしてください。
- 壁用・床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
- 区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。
- ファイブロックの幅は規程の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。

製造元 **積水化学工業株式会社**

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。

*本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード

No. 07347

(FP047T)

2023. 3. TX